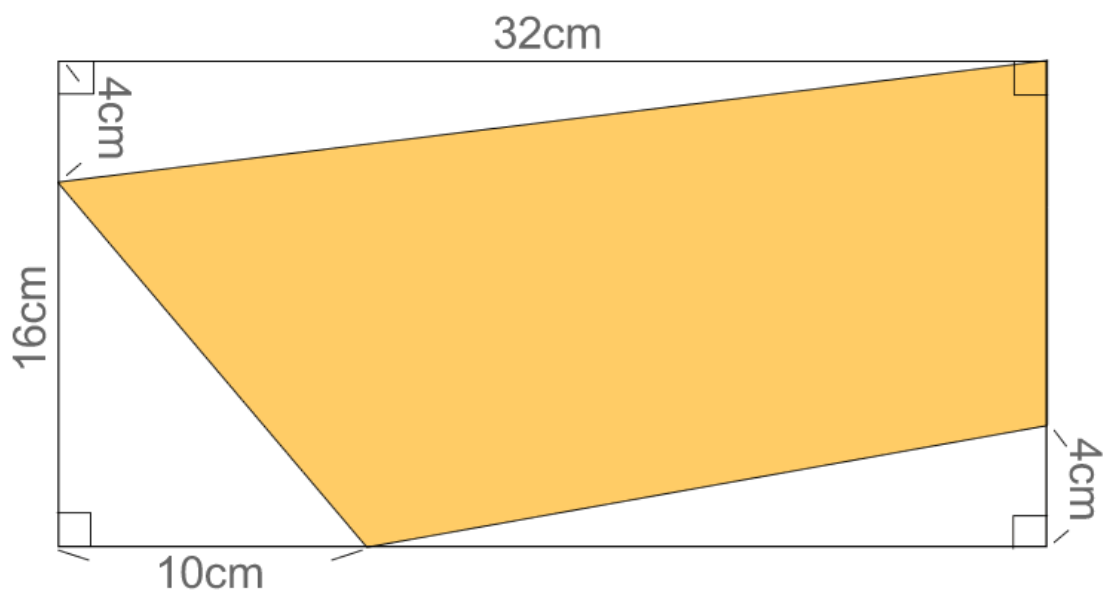


# 5年生の計算プリント

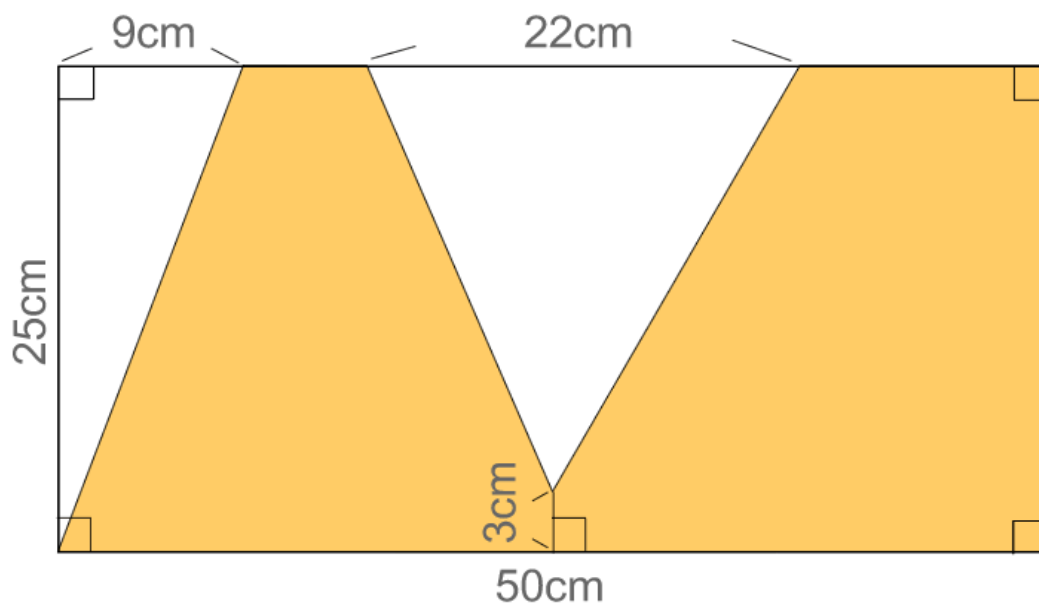
## ■様々な形の面積(1)

名前 \_\_\_\_\_

(ア)



(イ)



## 5年生の計算プリント

### ■様々な形の面積(1)

名前 \_\_\_\_\_

解答用紙

(ア) 式

答え

(イ) 式

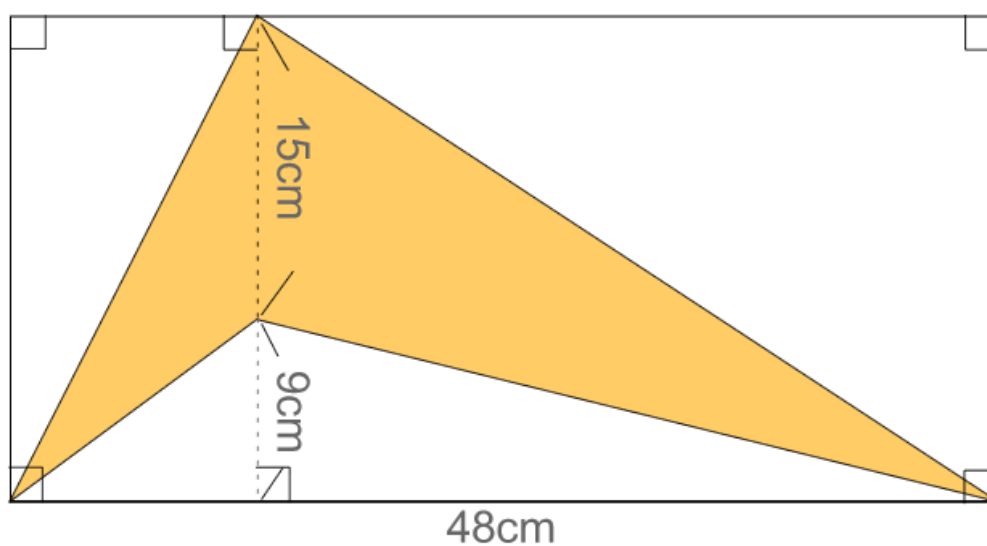
答え

# 5年生の計算プリント

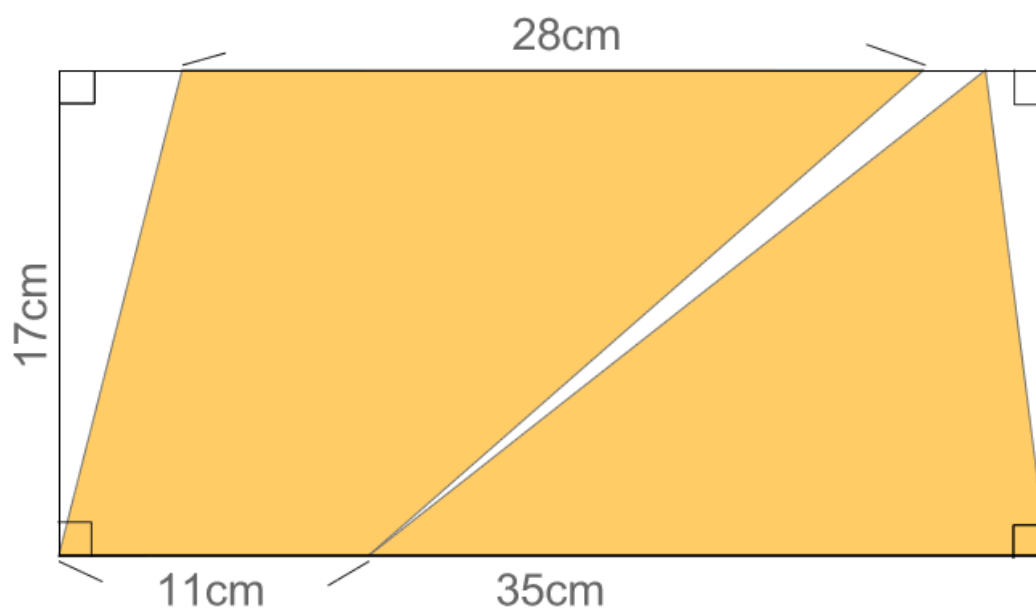
## ■様々な形の面積(1)

名前 \_\_\_\_\_

(ウ)



(エ)



## 5年生の計算プリント

### ■様々な形の面積(1)

名前 \_\_\_\_\_

解答用紙

(ウ) 式

答え

(エ) 式

答え

答え ■様々な形の面積(1)

(ア) 式  
 $32 \times 16 = 512$   
 $32 \times 4 / 2 = 64$   
 $22 \times 4 / 2 = 44$   
 $12 \times 10 / 2 = 60$   
 $512 - 64 - 44 - 60 = 344$

答え  
 $344\text{cm}^2$

(イ)  $50 \times 25 = 1250$   
 $9 \times 25 / 2 = 112.5$   
 $22 \times 22 / 2 = 242$   
 $1250 - 112.5 - 242 = 895.5$

$895.5\text{cm}^2$

(ウ)  $15 + 9 = 24$  …全体の縦の長さ  
 $48 \times 24 / 2 = 576$   
 $48 \times 9 / 2 = 216$   
 $576 - 216 = 360$

$360\text{cm}^2$

☆  $15 \times 48 / 2 = 360$  でも正解です。  
 底辺の長さが同じ2つの三角形なので、1つの三角形と考えて求めて問題ありません。  
 ▼証明すると、下記のように説明できます。  
 オレンジの部分2つの三角形に分け(点線部分)、下記のように求めます。  
 左側の三角形の面積 …  $15 \times (\text{全体の高さ} - \text{右側三角形の高さ}) / 2$   
 右側の三角形の面積 …  $15 \times (\text{全体の高さ} - \text{左側三角形の高さ}) / 2$   
 2つの三角形の合計 …  
 $7.5 \times (\text{全体の高さ} - \text{右側三角形の高さ}) + 7.5 \times (\text{全体の高さ} - \text{左側三角形の高さ})$   
 $= 7.5(\text{全体の高さ} - \text{右側三角形の高さ} + \text{全体の高さ} - \text{左側三角形の高さ})$   
 ※右側三角形の高さと左側三角形の高さを合わせると全体の高さなので、  
 $= 7.5(\text{全体の高さ} + \text{全体の高さ} - \text{全体の高さ})$   
 $= 7.5 \times \text{全体の高さ}$

(エ)  $(28 + 11) \times 17 / 2 = 331.5$  …台形の面積  $535.5\text{cm}^2$   
 $24 \times 17 / 2 = 204$  …三角形の面積  
 $331.5 + 204 = 535.5$

☆  $(35 + 28) \times 17 / 2 = 535.5$  でも正解です。  
 右の絵の赤の三角形と青の三角形の面積は同じだからです。  
 三角形の面積 = 底辺  $\times$  高さ  $\div 2$   
 ですから、底辺が同じで高さも同じである  
 2つの三角形の面積は等しいのです。  
 ここから、青の三角形と左の台形を合わせた  
 大きな台形の面積を求めればよいことがわかります。

